

はハチ公

津市



全国に5か所の像が存在するハチ公

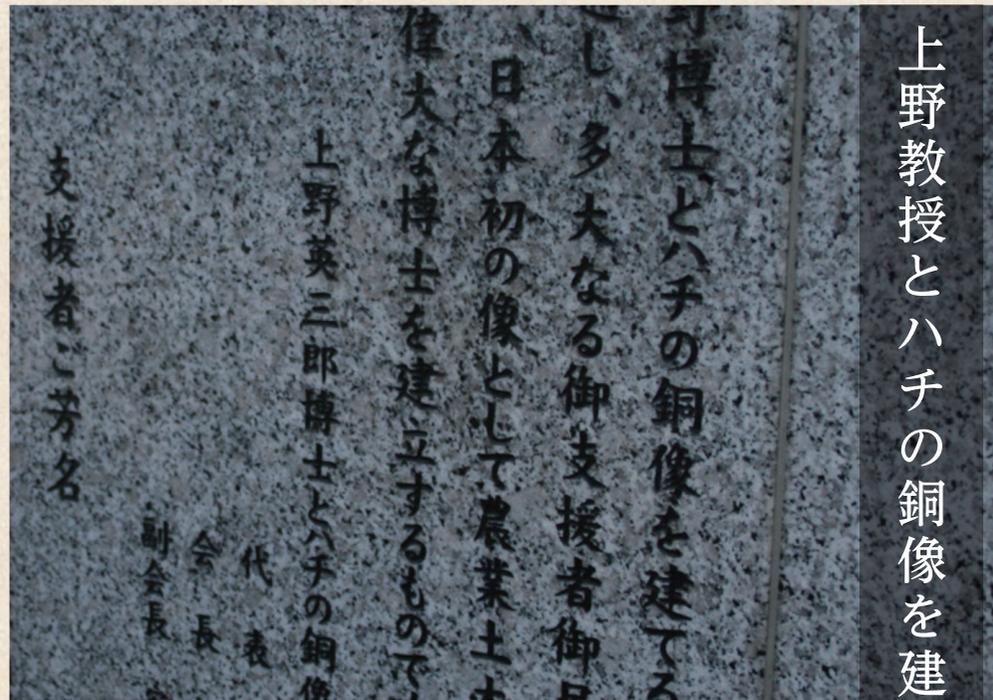
「ハチ公像」といえば、待ち合わせスポットとしても有名な渋谷駅前…と思いきや、日本全国に合わせて5か所のハチ公像が存在する。ハチ公の忠犬ぶりをフィーチャーして建てられたのが渋谷駅前、そしてハチの生地・秋田県大館市のJR大館駅前（大館市は各所にハチ公像があります）、経由地である山形県鶴岡市役所。

ハチの飼い主である東京帝国大学（現・東京大学）の上野英三郎教授の功績とハチの絆を描いたのが、東京大学と近鉄久居駅東口にある銅像である。

農業土木に生きた上野教授

で、なんで久居駅かというと、久居は上野教授の出身地なんですね。

上野教授は、帝国大学農科大学卒業後、大学院を経て、東京帝国大学の教授に。明治38年には、農業土木技術員養成官も務め、農業土木研究や耕地整理技術者の養成に尽力し、「日本農業土木・農業工学の創始者」と呼ばれるほど日本農業界に影響を与えた人物だ。



上野教授とハチの銅像を建てよう！

「久居出身の偉大な先生・上野教授と忠犬ハチ公の銅像を近鉄久居駅東口に建てよう」…そう思ったのは、地元久居で不動産業を営む多田滋郎さん。「ハチゆかりの地にある銅像はどれもハチの銅像だけ。人と動物との絆の話ですから、ぜひ出身地の久居にふたつの銅像を建て、地域の活性化につなげたい」と自社のチラシに掲載したり、新聞に寄稿するなど、孤立無援の呼びかけを行っていたという。

その多田さんの記事を見つけたアマチュア無線クラブ「つなん165ネット」が賛同して「上野英三郎博士とハチの銅像を建てる会」を発足したという。なんとという繋がりが！意外なところから援軍を得て、会は上野博士の情報収集や調査、看板などの製作、募金活動など活動を活発に行った。上野博士の孫にあたる元県議会議員の上野一人さんの元を訪ね、活動への賛同を得て、名誉会長になってもらった。

たったひとりの草の根活動から、多くの人に関わるプロジェクトとなり、2012年10月にいよいよ完成。ハチと上野教授が静かに見つめあう、ちょっとほのぼのとする像です。渋谷のように、三重県人の待ち合わせスポット、になれるか!?





人気犬「まる」も参戦

そして、三重は紀州犬の発祥地、上野教授の出生地だということで、「みえの国観光大使」にInstagramで国内外に大人気の柴犬「まる」を起用。

まるが三重県に来た時に、まるとハチの対面も実現！まるが観光大使として、三重の魅力をどのように紹介してくれるのかとっても楽しみです。



写真で紡ぐたび



久居小戸木町にある小戸木神社には、大正13年に建立されたという篆額(てんがく)文字の記念碑がある。



上野教授の墓は2つあって、ひとつは青山墓地に教授とハチが並んでいるもの。もうひとつは、津市久居元町の法専寺にある。



除幕式の様子。地元よさこいグループの踊りや和太鼓の演奏、ハチ公の歌の披露など、華やかに行われた。



みえの国観光大使に選ばれた「まる」。Instagramのフォロワーは210万人と言われており、そのうち9割が海外のファンだそう。海外からの観光客が増えそう!?

コンシェルジュからのおすすめポイント！ 

「久居駅に上野教授の銅像を建てる」…10年前、その構想を周囲に話しても、夢か冗談かと思われていたんです。それが活動の中でいろんな支援者が集まり、少しずつ前進することができました。銅像を見た時は感無量でしたね。同時期に東京大学でも上野教授の像が建てられて、久居の偉人・上野教授が注目されるきっかけとなりました。今では上野先生の菩提寺である「法専寺」とともにガイドツアーのスポットにもなっていますよ。近鉄久居駅の東口を出たところでハチ公がみなさんをお迎えていますので、ぜひ見に来てくださいね。



コンシェルジュ 多田滋郎さん

スポット概要



近鉄久居駅 東口
「上野英三郎とハチ公」銅像

■住所 津市久居新町994-6



このStoryをスマートフォンでもご覧いただくことができます。